

## 内房

# しらとりやま 白鳥山

白鳥山は、静岡県と山梨県の県境にある標高567メートルの山です。

山の麓には、古くから両県を結ぶ道が通り、山頂からは富士川流域を臨むことができるため、戦国時代には山城が築かれました。武田信玄の駿河侵攻の際、のろし台※として使用されたといわれています。

※敵の侵入などを知らせるために、薪や火薬などを使って煙を高く上げる場所



白鳥山周辺の多くの集落で、小正月にどんど焼きが行われないのは、のろしと見間違える可能性があるために禁止されたと伝えられています。

どんど焼きにまつわる伝説は、他にもあります。

### 白坊主とどんど焼き

昔、どんど焼きをしていたら、白鳥山から白い髭の坊主が手招きして村人を呼んだ。同じようなことが続いて気味が悪くなり、どんど焼きをしなくなった。

### 白い鳥とどんど焼き

昔、大きな白い鳥が白鳥山に飛んできた。村人がどんど焼きをしていたら、この鳥が村人の方を向いて大きく羽ばたきをした。村人は、白い鳥がどんど焼きをしてはいけないと言っていると思い、どんど焼きをしなくなった。

### 歩く博物館Wコース<内房地区> 内房の里をあるくコース

市役所6階文化課、郷土資料館(文化会館内)、出張所または市公式ウェブサイトなどにあります。

HP トップページ>市民の皆さんへ>教育・文化・スポーツ>郷土資料館>歩く博物館



白鳥山は、1707(宝永4)年10月4日の宝永地震により崩落しました。土砂は、富士川を下り、長貫村まで押し寄せました。長貫には、犠牲となった22人の供養塔が1878(明治11)年に建てられました。



内房の橋上の集落の入り口付近にも、宝永地震と安政東海地震による白鳥山崩落の犠牲者を供養する地震墓があります。



### 歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

- 料 500円
- 申 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で
- 他 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。
- 問 文化課 ☎22-1187  
✉e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

